

○第5回ナノテクノロジー・材料分野PT説明資料

ナノテクノロジー・材料への取り組み

平成19年12月13日
経 済 産 業 省

平成20年度資源配分方針を踏まえた経済産業省の重点化方針

第3期科学技術基本計画の 「戦略重点科学技術」

○ True Nanoや革新的材料で困難な社会的課題を解決

- ①グリーンエネルギーの飛躍的なコスト削減を可能とする革新的材料技術
- ②希少資源等の代替材料革新技術
- ③生活の安全・安心を支えるナノ・材料技術
- ④イノベーション創生の中核となる材料技術

○ True Nanoで次世代のイノベーションを起す科学技術

- ⑤デバイス性能の限界を突破する技術
- ⑥先端的ナノバイオ・医療技術

○ True Nanoや革新的材料技術によるイノベーションの創出を加速する推進基盤

- ⑦ナノテクの社会受容のための研究開発
- ⑧イノベーション創出拠点整備
- ⑨ナノ領域最先端計測・加工技術
- ⑩X線自由電子レーザーの開発・共有

経済産業省における重点化

1. ナノテク実用化研究の推進と研究基盤の強化
→「商品化までの道のりが遠い」と言われるナノテクの実用化を加速すべく、垂直連携・異業種連携で行う研究開発等を引き続き支援。また、ナノレベルの反応プロセス「可視化」のための計測装置開発を開始し、我が国の材料開発の基盤を強化。

2. 安全性確保及び国際標準化への取り組みの強化
→ナノテクの社会受容促進のために、社会的影響や評価手法の国際標準化に向けたナノ粒子の特性評価手法について引き続き研究開発を実施。

3. 府省間等、連携のさらなる推進
→引き続き、科学技術連携施策の研究を推進する他、文部科学省と連携して、希少金属代替材料開発やナノエレクトロニクス技術の開発に注力。

4. 高度部材産業の強化
→我が国製造業を支える高度な部材産業群の競争力を一層強化するため、ユーザー・製造業等との連携（川上・川下連携）による研究開発を支援。

ナノテクノロジーに関わる研究開発の展開

■ 終了プロジェクト
■ 20年度以降実施する主要PJ

2001 H13 2003 H15 2005 H17 2007 H19 2009 H21

